

情報信託機能・データ利活用ビジネスに向けた取組

2018.9.25

みずほ銀行

データビジネス推進部



ご説明の内容

1. 情報信託機能に求められるもの

- ・ 総務省より受託した「IoTおもてなし環境の社会実装に向けた情報仲介機能の在り方に係る調査研究」を通じて確認した情報信託機能に求められる機能・要件

2. 情報信託機能の普及に向けた取組み

- ・ 「情報信託機能普及協議会」への参加

3. データ利活用ビジネスの事例紹介

- ・ 「J.Score」の取組み
 - ー 日本初のスコアレンディングサービス「AIスコア・レンディング」から、スコアに基づく提携企業のリワード提供サービス「AIスコア・リワード」へ
- ・ データ利活用を展望したキャッシュレス決済手段の取組み

4. 銀行グループが取り組む意義

- ・ データ流通ビジネスを取り巻く外部環境
- ・ 担い手としての銀行の強み

「IoTおもてなし環境の社会実装に向けた情報仲介機能の在り方に係る調査研究」 (概要)

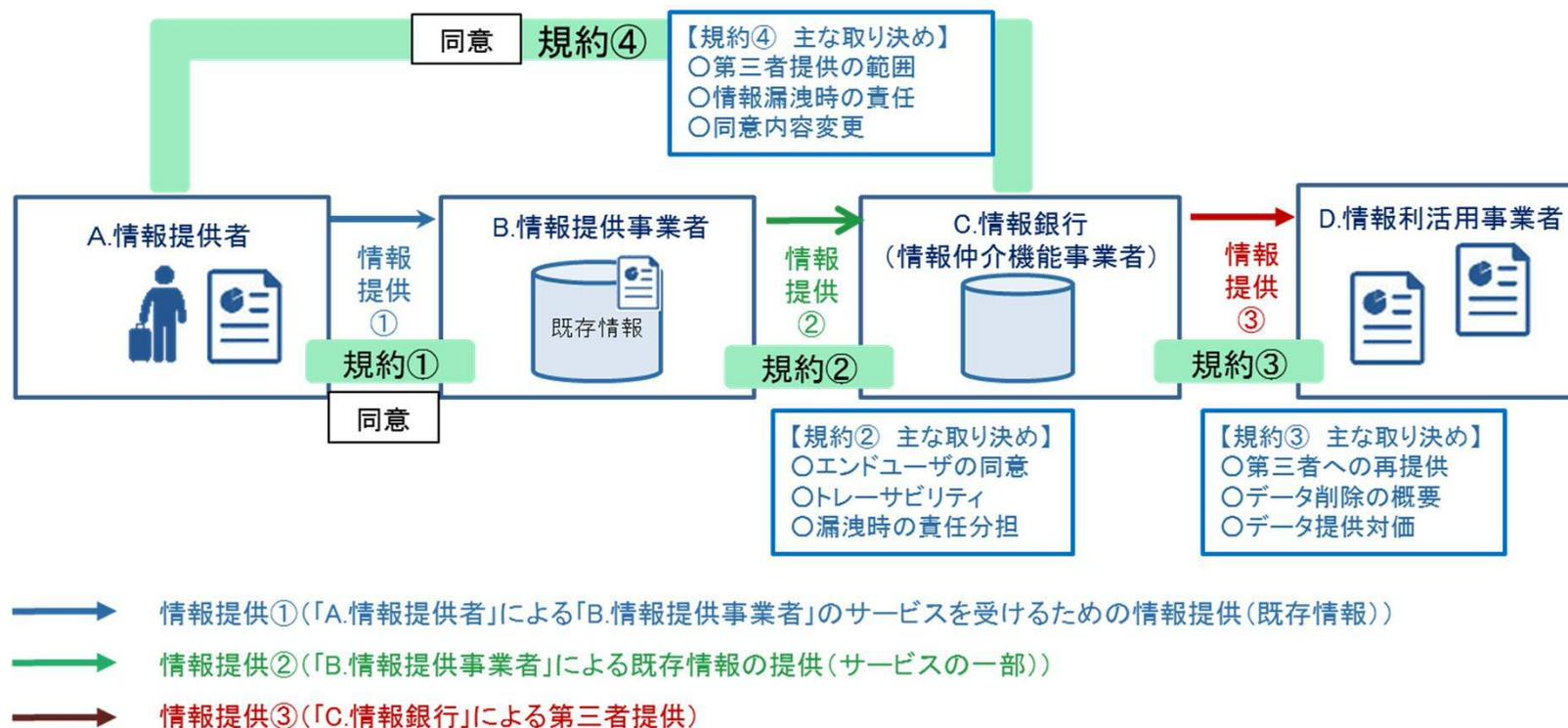
平成28年度に実施した「IoTおもてなし環境」における7つのユースケース(*)の実証を踏まえ、社会実装に向けた情報仲介機能の在り方について、平成29年度にデータ活用時のルール検証等を受託 (みずほ情報総研)。

* 在日外国人や一般旅行者等約1,700名がモニターとして参画。個人情報の提供と引き換えにICカード等を用いたおもてなしサービスを提供。

既存データ活用時のルールに関する調査・実証及び社会実装等に向けての調査・検討

既存サービス等を通じて蓄積されたデータ (以降、既存データ) を利活用する際に問題となる情報提供者をはじめとした関係者の同意取得、第三者提供時のルールのあり方等について、調査・実証を行う

- 1 実証で用いる規約等の準備
- 2 アンケート・ヒアリング調査
- 3 包括的な各種調査・検討



出典: 総務省「IoTおもてなし環境の社会実装に向けた情報仲介機能の在り方に係る調査研究」報告書参照 / 抜粋

「IoTおもてなし環境の社会実装に向けた情報仲介機能の在り方に係る調査研究」 (結果)

【社会実装上のポイント】

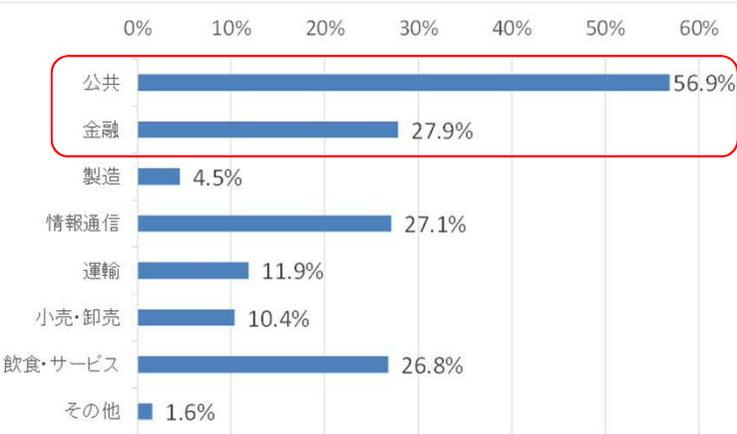
- **情報提供者に対する理解形成や普及促進に必要な取組**
 - ✓ 政府や第三者機関による**仕組みの周知と認定**・監督
 - ✓ 情報提供者に対する**アカウントビリティとコントローラビリティ**の確保
 - ✓ セキュアかつ効率的なデータ受け渡し環境の確保
- **情報仲介機能のビジネスモデルの在り方**
 - ✓ 情報提供者に対するインセンティブの提供と**情報の真実性の確保**
 - ✓ 情報利活用事業者に対する**利便性向上**
 - ✓ 利用目的や取り扱い情報による情報仲介機能の多様化
- **情報仲介機能の社会実装への課題**
 - ✓ 情報提供者の「漠然とした不安」の解消
 - ✓ 情報漏洩時のリカバリー策と補償体制の確立
 - ✓ 各種の**標準化やガイドライン**の策定

【実証参加企業ヒアリング】 (抜粋)

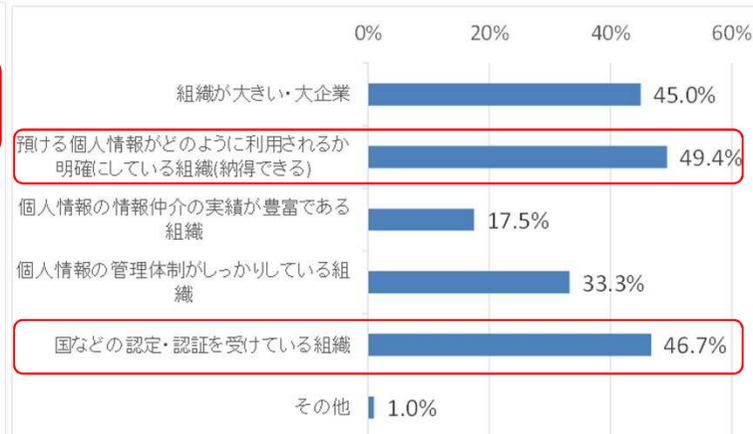
- ✓ 詳しい属性情報が含まれていることで、オファーマーケティングのターゲティングのし易さ、マーケティング効果の高さから、情報仲介により詳細な属性情報付きのデータが得られることは有益。なお、個人単位の情報だけでなく、コミュニティ単位の情報も価値がある。
- ✓ 提供を受けるデータに支払う価格については、データの精度や利活用する際にコストに応じた料金設定になる。
- ✓ 情報仲介機能に求めるサービス
 - 情報仲介機能は、**セキュリティ環境を提供**したり、**企業が変わってマーケティングを代行**したり、**調査結果を提供**するといった付加価値の提供。
 - **情報のスクリーニング**や**データセット作成支援**、**真偽の確認**等のチェックを行う機能。

【モニターアンケート結果】

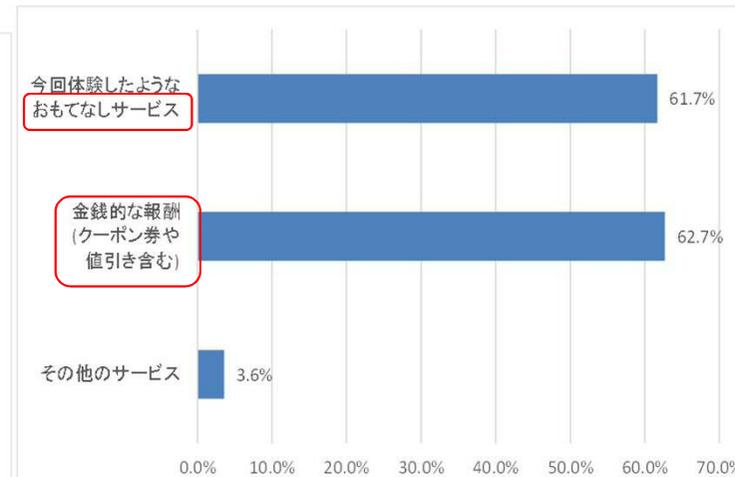
■ 情報仲介機能を任せやすいと感じる業種



■ 情報を信託してもよいと思える条件



■ 情報仲介機能を利用するインセンティブとして好ましいもの



出典: 総務省「IoTおもてなし環境の社会実装に向けた情報仲介機能の在り方に係る調査研究」報告書参照/抜粋

「情報信託機能普及協議会」への参加

① 協議会設立（2018年8月6日）

情報信託機能普及協議会

【主な組織】

- ・ 理事会
- ・ 情報信託機能WG
- ・ 普及促進WG

【参加会員】

大日本印刷株式会社
株式会社みずほ銀行

他5社

日本IT団体連盟に加入

<http://itfpc.jp/>

活動内容

- ① 「情報信託機能の認定に係る指針ver1.0(案)」に照らした、情報信託機能の**社会実装促進**に係る活動
- ② 事業者の参入を促す**広報・普及促進**活動
- ③ 情報信託機能の社会的認知を形成するための**啓蒙活動**
- ④ 認定指針ならびに関連制度の運用に照らした**諸課題・論点の抽出**
- ⑤ 上記に係る、**関係省庁機関との緊密な連携による協議**

② 日本IT団体連盟による「情報銀行推進委員会」等の設置、情報銀行認定事業の開始及び説明会開催のプレスリリース（2018年9月12日）

<https://itrenmei.jp/registration/>

一般社団法人日本IT団体連盟

ホーム 目的・活動 概要 政策提言 情報銀行認定 情報公開 ご入会・お問い合わせ 新着情報

ホーム / 情報銀行認定事業開始について

情報銀行認定事業開始について

IT産業に関わる日本最大級のIT団体の連合体「一般社団法人日本IT団体連盟」（東京都千代田区、代表理事 兼 会長：川邊 健太郎、以下日本IT団体連盟）は、情報銀行推進委員会を設置し、今秋を以て、民間企業が個人から同意のもと、個人情報を含むパーソナルデータを預かり、個人の代わりに妥当性を判断の上、第三者の事業者からパーソナルデータを提供する「情報銀行」事業を審査・認定する「情報銀行認定」事業を開始いたします。

あらゆるところでITが導入、活用されている現代社会の中で、人々の豊かな生活の創造や、それを支える産業振興のためにも、今後パーソナルデータをさまざまな分野で活用していくことが重要だと考えられます。しかし、消費者は、パーソナルデータの取り扱いに関して不安を持ち、企業は風評を恐れてパーソナルデータの利用を躊躇してしまう状況にあります。

消費者と企業におけるそのような状況を乗り越え、パーソナルデータを安全安心に利活用していくため、税務省と経済産業省が「情報信託機能の認定スキームの在り方に関する検討会」を開催し、2018年6月に「情報信託機能の認定に係る指針ver1.0」(案)をまとめ、公表いたしました。

※ http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin01_02000250.html
<http://www.meti.go.jp/press/2018/06/20180626002/20180626002.html>

日本IT団体連盟では、パーソナルデータの円滑な流通と活発な利活用、そして個人が便益を享受できるようにしていくため、「情報銀行認定」事業を開始いたします。このため、日本IT団体連盟は、税務省と共催で、10月19日(金)に、「情報銀行認定」に関する説明会を開催いたします。

情報銀行認定に関する説明会

1. 日時：2018年10月19日(金) 10時30分～12時00分(受付開始：10時00分)
2. 場所：税務省地下2階講堂(東京都千代田区橋が間2-1-2 中央合同庁舎第2号館)
3. 内容：
 - ・ 座談会：「情報信託機能の認定スキームの在り方に関する検討会」主催 沢戸 真寿(東京大学大学院教授)
 - ・ 「情報信託機能の認定に係る指針ver1.0」のとりまとめに関する説明(税務省 飯倉主税)
 - ・ 情報銀行推進委員会の役割「認定事業/普及啓発活動」に関する説明(日本IT団体連盟 情報銀行推進委員会委員長 井上真珠)
4. 定員：100名(申込締切10月12日)
5. お申込：下記「説明会参加申込フォーム」からお申込みください

J.Score 概要

2017年9月『AIスコア・レンディング』開始

2018年10月『AIスコア・リワード』開始予定



みずほ・ソフトバンク共同記者発表
BIGDATAとAIを活用した
フィンテックJV設立合意を発表



商号 株式会社J.Score
 代表者 CEO大森隆一郎
 CFO大庭則一
 資本金 100億円※みずほ連結
 - みずほ銀行50億円
 - ソフトバンク50億円
 貸金業者登録 : 関東財務局 (1) 第01510号

AIスコア
 お客さまの可能性を
1000点満点でスコア化

スコアアップ
 ライフスタイルを反映して
さらにスコアアップ

レンディング
 金利：0.8%~12.0%
 極度：10万円~1,000万円

YAHOO! JAPAN データ連携開始
 J.Score
 Y!mobile データ連携開始

Score 845

AIスコア・レンディング (2017年9月25日サービス開始)

AIスコア
あなたの可能性を
1000点満点でスコア化

スコアアップ
ライフスタイルを反映して
さらにスコアアップ

レンディング
金利：**0.8%~12.0%**
極度：**10万円~1,000万円**

J.Score

ホーム スコアアップ トピックス メンバーシップ

819
現在のスコア
CURRENT SCORE

INFORMATION

前回のスコア PREVIOUS SCORE	2017/12/01	796
情報の入力状況 INPUT STATUS	2017/12/31	65%
スコア履歴 SCORE HISTORY		>

18のチャット質問
1,000点満点
わずか2~3分
(入力からスコア提示まで)

スコア診断 後で印刷 10%

あなたのこととお呼びす
ればよろしいでしょうか?

*****です

*****さん、
よろしくお願ひします

生年月日を教えてください
1985年6月1日であれば
「19850601」とご入力ください

1985年6月1日です

あなたは男性ですか?
女性ですか?

男性 女性

J.Score

ホーム スコアアップ トピックス メンバーシップ

あなたのことを教えてください

- 生活 LIFE
- 情報連携 LINK
- 性格 CHARACTER
- ウォレット WALLET
- ファイナンス FINANCE
- プロフィール PROFILE

自ら情報入力し、
スコアアップ可能
項目数は約150
(入力は任意)

- 生活
- 性格
- ウォレット
- ファイナンス
- プロフィール
- 情報連携

- MIZUHO 金融
- SoftBank Y!mobile 通信
- YAHOO! JAPAN EC

J.Score

ホーム スコアアップ トピックス メンバーシップ

レンディング キャンペーン

現在のスコア **955**/1000

貸付利率 年 **1.9%**

契約極度額 **750**万円

お申込み・審査状況確認

スコアアップすると貸付条件が変わります

スコアアップ
より多くの情報を入力するとスコアの精度が高くなり
ます。
追加の情報入力はこちら

公式アプリ (2018年7月リリース)

アプリ限定の新機能『ハビットチェンジ』でスコアアップ



あなたの行動を
AIスコアに反映



アプリに最適化された
直感的な操作性



生体認証に対応※
安心のセキュリティ



AIスコア・リワード (2018年10月中旬サービス開始予定)

CUSTOMER

J.Score

提携企業

参画無料

AIスコア取得

スコアランク表示

リワード一覧

オンライン

専用LP
から特典申込

オフライン

QRコード
店頭表示など

必須項目
入力

スコアアップ
項目入力
(任意)

情報連携
同意
(任意)

行動・習慣
(公式アプリ)

情報提供

無料

ワンクリック
で完了

無料

リワード
利用申込

外部個人信用情報は使用せず算出

スコアランクは
月次更新

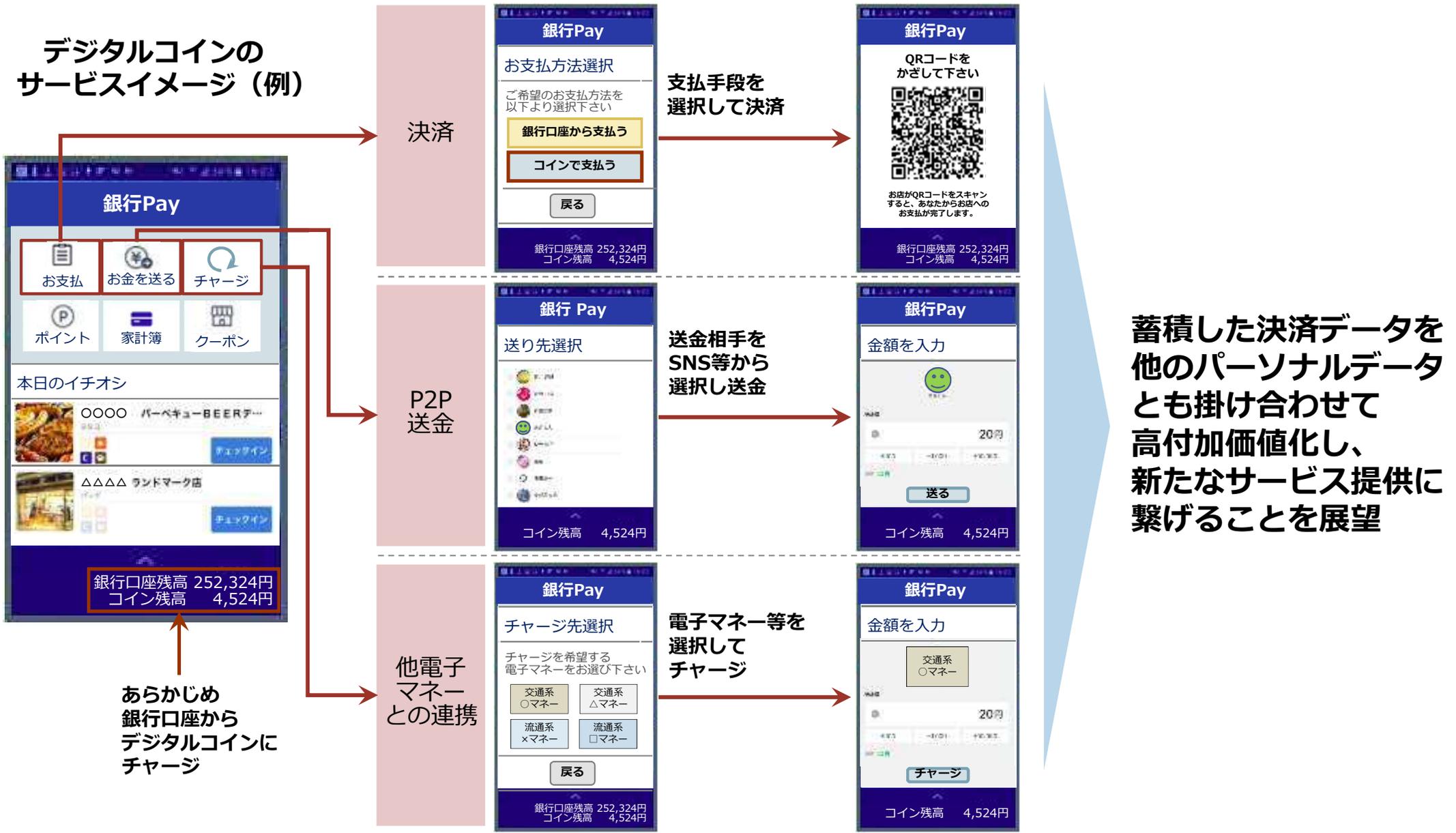
個人情報の提供は行わず、
J.Scoreのプラットフォーム
を通じ、メンバーが直接
利用申込



「AIスコア・リワード」 スコアランク

AIスコア	スコアランク	リワードイメージ
950～1000	DIAMOND	<p>様々なライフスタイルにおいて活用できる魅力的なリワードを提供 開始時は10数社が参画予定（順次拡大）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ネット専用メディアでの有料サービス特別割引 ■ 自己啓発のためのスクール講座、語学等での特典ご提供 ■ 各種金融サービスの手数料等の優遇 ■ 有名旅行会社にて貴重なメンバー特別プラン提供 ■ 人気リゾートクラブ、ジム、スパでの特別優待 ■ 有名グルメサイトでのサービスランクアップ ■ 有名ホテル、百貨店等での特典提供 等
900～949	PLATINUM	
800～899	GOLD	
700～799	SILVER	
600～699	BRONZE	
～599	PEWTER	

データ利活用を展望したキャッシュレス決済手段の取組み



データ流通ビジネスを取り巻く外部環境 と 担い手としての銀行の強み

データ流通 ビジネスを 取り巻く 外部環境

- ・ 金融は官民データ活用推進基本計画で指定された重点8分野の1つ
⇒ 経済活性化・利便性能向上等に向け、積極的なデータ流通ビジネスの推進が必要
- ・ GDPR制定など、パーソナルデータに関する個人の権利の明確化と、厳格な管理・運営が必要とされる潮流
⇒ より厳格な個人情報取扱いのルール遵守体制を含めたビジネスモデルの構築・推進が求められる環境

担い手としての 銀行の強み

- ・ 顧客保護のための安全性の高い情報管理・システム運用能力やそれに裏打ちされた信頼など、銀行の本業は、本来的に情報信託機能・データ利活用に求められる機能との親和性が高い

情報信託機能に求められる機能

- ・ 情報の取扱いに関するノウハウ
- ・ 個人からの認知・信用
- ・ 広範・多数の事業者の参加



銀行の強み

- ・ 安全性の高い情報管理・システム運用
- ・ 長年の経験・歴史で培った信頼
- ・ 厚い顧客基盤と蓄積した決済データ

**経済・社会の発展に向け、
銀行グループは情報信託機能・データ利活用ビジネスの主要プレイヤーに**